

くらし



5/9日(木)10時 新潟鳥屋野線が開通

八千代橋と笹出線を結ぶ4車線道路として整備を進めている新潟鳥屋野線の全面開通に先立ち、2車線と歩行者・自転車道を開通します。

これは、新潟駅付近連続立体交差事業の一環として鉄道高架下を横断する幹線道路を整備し、駅周辺地区の交通の円滑化を図るものです。

なお、年度内の4車線全面開通に向け、引き続き同路線の工事を進めていきます。

問 新潟駅周辺整備事務所(☎025-245-1264)



開通による主な効果

- ・鉄道を挟んだ南北市街地の連続性とアクセス機能の向上
- ・駅を拠点とした道路ネットワークの形成による交通の円滑化
- ・自動車交通と歩行者・自転車の分離による安全性と利便性の向上

市内のイベント情報は

文化・スポーツ・観光



岸壁を一般開放 5/23(木)クルーズ船が寄港



クルーズ船「シルバー・エクスプローラー」が新潟西港に初寄港します。当日は岸壁の一部を一般開放し、初寄港歓迎式典も開催します。岸壁の開放は、運行状況により時間などを変更または中止する場合があります。詳しくは市ホームページで確認してください。

問 国際観光課(☎025-226-2614)



スマートフォンはこちらから



シルバー・エクスプローラー ©シルバーシー・クルーズ日本支社

場 新潟西港中央ふ頭(先端岸壁)
岸壁開放12:00~17:00
着岸13:00 離岸23:00
初寄港歓迎式典15:00(予定)

今後の寄港予定

船名	期日	岸壁開放	着岸	離岸	場所
カレドニアン・スカイ	5/31(金)	11:00~18:00	8:00	17:30	新潟西港中央ふ頭(先端岸壁)
にっぽん丸	6/29(土)	7:00~12:30	8:00	12:00	新潟西港山の下ふ頭(北側岸壁)
	7/2(火)	8:00~12:30	9:00	12:00	

12次産業化(田園資源活用)優良事列表彰2018の優良事例賞と奨励賞を受賞した取り組みを紹介します。 ※表彰事例の詳細は市ホームページに掲載

問 ニューフードバレー特区課(☎025-226-1641)



市政



12次産業化を推進 優良事例を表彰



優良事例賞

田園資源 × 交流

株式会社U・STYLE

鳥屋野潟を活用した豊かな水辺空間の創造と魅力発信

取り組みの概要

近郊の農産物の販売や自然を生かしたワークショップなどを行う「潟マルシェ」などを開催し、鳥屋野潟ならではの「人やモノの魅力」を発信している。

評価ポイント

年間を通して潟の魅力を楽しむ取り組みを行い、地域内外の人の交流を促した。社会貢献となる取り組みであり、新しいコミュニティビジネスとしてモデルケースとなり得る。



奨励賞

田園資源 × 福祉

株式会社曾我農園

園芸福祉農園に向けた取り組み

取り組みの概要

障がい者福祉施設と連携し、トマトの選果などの作業を障がい者に委託するほか、トマトラーメンの開発などを行った。

評価ポイント

福祉施設との連携と農業経営の両立ができている。将来に向けた農福連携の考えもはっきりしており、今後の事業展開に期待できる。



奨励賞

田園資源 × 環境・教育・交流

NPO法人新潟水辺の会

鳥屋野潟の五方良し・がってん(潟再生・発展)事業

取り組みの概要

鳥屋野潟湖畔での空芯菜の栽培をはじめ、潟の環境改善や特産品の開発などを地元の漁業者・中学生などと連携して実施。潟の持続的な活用に取り組んでいる。

評価ポイント

鳥屋野潟の水質浄化と潟の栄養分を利用した作物の生産を両立させるユニークな取り組み。地元中学生などの環境教育にも貢献している。



奨励賞

田園資源 × 交流

株式会社JR新潟ファーム

「新潟しゅぽっぽ」による地域ブランド向上と観光流動創造

取り組みの概要

JR東日本が市内の農業者と農業生産法人を設立し、生産した酒米を使った日本酒などを商品化。「新潟日本酒文化」を通じた地域ブランドの向上と観光流動創造の取り組みを行っている。

評価ポイント

農業と酒造の連携にとどまらず、事業者の特性を生かした観光や交流イベントを通じ、地域の産業に貢献している。



12次産業化とは

農業や里山などの田園資源を福祉や子育て、観光・交流など市民生活に関係の深い6つの分野に活用し、新たな産業・雇用の創出や新潟らしいまちづくりを目指す取り組みです。